

今年度の予算と施政方針

明るく生き生きとした活力のある町づくり

きめ細やかな福祉のある町づくり

施政方針

まず始めに、去る1月に行われた町長選挙に際しましては、町民皆様の暖かいご支援ご厚情を頂き無競争当選の栄に浴し、引き続き3期目の町政の重責を担わせて頂くことになりました。

二十世紀の有終の美りを確実なものとし、二十一世紀に希望のある発展的な行政を進めてまいり所存でありますので、より一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

予算の編成について

継続的に進めて参りました事業については一段落したところであり、11年度の一般会計の当初予算はほぼ前年度並みの37億8千2百万円となりました。

特別会計については依然として老人保健の伸び率が高く、国民健康保険の運営とともに厳しいものとなっております。また、下水道会計については、前年度比約11%増といたしました。上水道については第六次拡張整備事業の第二期計画を実施し

ますので大幅な予算増となっております。

主なる事業について

国・県に係る事業としまして、公共下水道整備事業として、昨年より着工しました山の手地区排水計画事業、及びウデコキ第3から竜玄地区の下水道整備を進めてまいります。

国道403号線バイパスの小須戸・田上間については、平成11年度では道路詳細設計を実施し、白根・安田線付近の一部用地取得をする予定であります。12年度には県道白根・安田線から横川・鎌倉1号線までの間の丈量を実施し、引き続き用地の取得を推進する計画であります。

次に国に対して要望を続けてまいりました「水辺の楽校」が昨年採択されましたので、本年度は具体的な事業内容の計画を策定し、12年度から、建設省の直轄事業として、町も協力しながら工事を進めてまいります。

次に県事業としては県道新潟・小須戸・三条線のウデコキ四叉路付近(堤防線)から小須戸橋付近までの道路改良であります。

本年度は約250mの区間を改良、舗装を行ってまいります。

次に町単独事業の主なるものについて申し上げますが、第六次上水道拡張整備事業については第一期計画の配水池関連工事の完了いたしましたので、本年度は第二期計画を実施して参ります。

都市計画の関係では、第二次駅西側開発計画に基づいて、市街化区域編入の作業の中で県との協議を重ねてまいりましたが、一部見直しを行い約20ヘクタールの規模で再調整を行っているところであります。県都市計画審議会の議を経て決定されることとなりますので、同意を得られるよう努めてまいります。

農・工・商について

農業については、基幹作物である米穀生産が相変わらず厳しい状況下に置かれており、作付減反率も前年並みの31%となっております。減反は政府の定めた究極の施策であります。本年も全農家の皆さんには、相互互助の基本理念をもって一丸となつて、各自の減反配分を全うして

頂きたいと願うものであります。

また、実績の付いてきた大豆等の転作物物の生産に取り組み、美田を守って頂きたいと思っております。町といたしまして、安定農業の確立を目指して一層の努力をして参りますので、関係各位の更なる研究ご努力をお願いするものであります。

次に当町特産の花弁、花木等園芸農業の振興についてであります。幸いにして若き後継者も次々と誕生している現状は真に頼もしい限りであり、今後の更なる向上、発展を願いますと共に、関係諸団体の英知を集めた活発なる活動に期待いたしております。

また、花とみどりのシンボルゾーンにつきましては、花木振興及び観光的の拠点たるには未だ不十分でありますので、将来計画を練り上げて、整備してまいりたいと思っております。

商工業については、今はただ景気の回復が注視的となっております。町といたしましては、微力ではありますが、昨年12月から実質的、精神的支援を行うべく中小企業金融安定化特別

保証制度の保障料の助成を行っておりますが、既に計上予算を上回る利用状況でありますので、本年度も引き続き実施してまいります。

地域振興券についてであり、如何にしたら町民の方々から最も喜んで頂けるかを原点として取り組んだ結果、県内で一番早い2月27日から交付を開始し、多くのマスコミに取り上げられる事になりました。業者の皆さんからはこの事業を起爆剤として消費者の気持ち小須戸町に定着してくれるよう研鑽、ご努力を願うものであります。

次に産業まつりについては、慢性化もあり、新たな機軸も思い出せない現状から、本年度は休催とすることに決しました。

また、昨年より県の補助事業として商工会が主体となって取り組んでまいりました「ときめき商店街支援事業」のうちアドバイザー事業の骨格がまとまり、実施について県に対して事業費補助の申請を行っているところであり、これが採択後には町としても助成を行い「子育て命地蔵尊」と関連をもたせた中で推進してまいりたいと思つて

おります。

福祉・医療・文教について

まず、介護保険についてであります。平成12年度からの開始に備え、現在その準備に全力を傾注しているところであり、す。しかし、未だに不明な点も多くありますので、国・県の指導や情報の収集を行い、遅滞なくスタートを切れるよう努めてまいり所存であります。

また当町では関係医師が手薄でありますので、医師個々に係る依存度が高くなり過重な負担をお願いしなければならぬ状況が懸念され、これも踏まえ、越町の一市三町による広域的な連携の中でこの大きな業務に対応してまいります。

福祉全般については、従来通り「きめ細やかな福祉」を理念として、諸施策、事業を行ってまいり所存であります。

医療については、当町の医師の方々からは医療診療に大きなご尽力を頂いております。が、検診の種目によっては過度な苦勞をかけているのが現状であり、更に介護保険の認定業務も

新たにお願しなければならず、改めて更なるご協力をお願い申し上げます。

次に長期療養型病床群病院に白根保健生活協同組合と協議をしておるところであります。この病院の進出により地域医療の向上、学校関係、介護保険事業などにご協力を頂けますので、大きな期待を寄せているところであります。

次に文教関係であります。昨年より矢代田小学校、小須戸小学校関係の耐震構造調査を実施しておりますが、現在の処その調査結果は出ておりませんが、調査結果を踏まえて検討してまいりたいと思っております。

次に本年度から両小学校に教材用コンピュータを導入することに致しました。コンピュータは、既に今日では時代の必需品となっておりますので、児童から慣れ親しみ習得して貰いたいと思っております。次に青少年の育成についてであります。10年度でいくつかのスポーツ少年団が全国大会出場の栄誉を得ました。このことは

選手と指導者、保護者の皆さんの並々ならぬ努力の成果であり、ここに改めて関係者の皆さんに敬意を表しますと共に、今後も物心両面から支援して参りたいと思っております。

昨年開場しました信濃川親水緑地公園のサッカー場も、県下少年サッカー大会会場として使いたいとの話も聞いており、親水緑地公園が町民から親しまれ、更なる活用がされ、ことを期待いたします。

尚、スポーツ活動の他に文化・芸術・科学等の分野で、全国的な視野を養い得る催事に対して参加出来るケースについても、支援出来るよう検討して参りたいと思っております。

広域関連事業について

ゴミの減量化を図った指定有料ゴミ袋による収集が1月1日から実施され、ゴミの減量状況は、前年対比で1月は約30%、2月は20~25%減という処理状況にあり、この状態が引き続き持続することに期待するところであります。

今やダイオキシンや環境ホルモンの問題が大きくクローズアップ

ブされておられ、新設なつたばかりのゴミ処理センターの処理設備も改善の検討に入ると云う状況にあり、その対策に膨大な改善費用が予測され、更に地域住民の皆様からは、ゴミの分別や減量にご協力を願ひ申し上げる次第であります。

次に特別養護老人ホームについてであります。国の第3次補正予算により急遽、横越町での施設建設が決まり、既に昨年より着手しております。「横雲の里」と名付けられ、本年度中に完成の見込みとなり、当町もこの事業に参画し、4ベッドを確保することとなりました。

尚、当町では平成12年度からの要望をしているところであり、なかなか厳しい状況下にあります。なお事業採択に向けて努めてまいり所存であります。

相も変らぬ厳しい状況下ではあります。が「明るく生き生きとした活力のある町づくり、きめ細やかな福祉のある町づくり」を基本として一歩一歩行政を進めて参りたいと思っております。